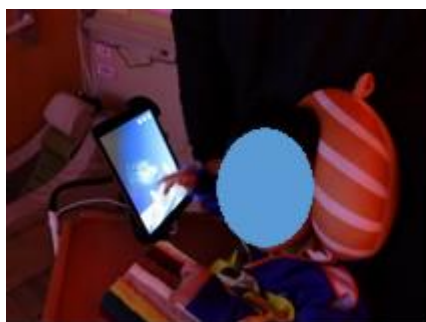


1 活動名**遊びの指導 うきうきランド（光遊び）****2 対象**

小学部 2年生

3 内容と取組の様子

- ・重複障害児童が ICT 機器に触れる機会と、操作により生じる現象をより体感できることを目的とした。
- ・「遊びの学習」内のアトラクションで「光遊び」で、タブレットに触れることで打ち上げ花火が音と同時に表示されるアプリケーションを使用し、音源の出力デバイスにポータブルスピーカーと振動を増幅させてより強く体感できる「抱っこスピーカー」を使用した。

**4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)**

- ・タブレット端末 (iPad)
- ・打ち上げ花火アプリ (タップ花火)
- ・ミニプロジェクター (キャノン C-13W)
- ・抱っこスピーカー HugMe (ハグミー)
- ・ポータブルスピーカー (ANKER SoundCore2)

5 おすすめポイント

- ・タブレットに触れる操作や音と光でダイレクトにフィードバックされることで、機器に触れば（操作）、楽しいことが起こるという初歩的なプロミラミング的思考を育成することに効果が見られた。

6 さらに工夫したいこと

- ・抱っこスピーカーは非常に効果が期待できる反面、単価が高いため、ポータブルスピーカーを空箱に入れて振動を増幅するなどして取り組むことで、近い効果が得られたと思われる。
- ・導入前から想定された事項であるが、児童によっては ICT 機器との親和性が高く、依存に近いこだわりをもってしまう傾向が非常に強いので、使用前にルールや約束事の徹底を十分に指導してから使用していきたい。